

明日に架ける橋

2025年度 進路だより 第9号
兵庫県立明石高等学校進路指導部
2026年1月21日発行

共通テストが終わりました

1月17日(土)・18日(日)、大学入学共通テストが実施され、明石高校からは推薦で進路が決定した人も含めて、207名が出願しました。それぞれの受験型によって、両日は5つの会場に分かれて、テストに挑みました。

207名の受験会場の内訳は、下記の通りです。

75名	神戸大学医学部保健学科
70名	神戸親和大学
41名	神戸常磐大学
20名	神戸女子大学須磨キャンパス
1名	流通科学大学

当日は、3年生の先生方が各会場で生徒の激励にあたりました。そのおかげで3年生はリラックスして受験ができたと思います。

翌19日に自己採点を済ませ、まもなく各データが返ってきます。この後、担任の先生としっかり面談をして、国公立大学を中心に今後の出願校の検討をしていきます。もちろん進路指導部への相談も待っています。

一般選抜で希望進路の実現を！

前号で私立大学一般選抜の出願についての話をしましたが、来週末あたりから関西の主な私立大学の一般選抜が山場を迎えます。第一志望校は一般選抜で決めよう、と3年生はずっと言われてきて、その通りの勉強をしてきたことでしょう。2学期期末考査以降、3学期の午前中特別時間割になってからも、補習の参加人数が減りません。毎年最後まで授業と補習に真剣に取り組んできた人が、一般選抜入試で合格を勝ち取ったという話を何度も聞いたと思います。今年も多くの人が、希望進路に進めるものと楽しみにしています。

昨年の3年生(77回生)の受験者(実人数)が多かった私立大学の一般選抜入試の合格者(実人数)は次の通りです。

関西学院大学	合格11名(受験26名)	関西大学	合格7名(受験22名)
近畿大学	合格14名(受験25名)	甲南大学	合格23名(受験54名)

実人数ですから、一人で複数の合格をした人も多くいます。上記の大学の一般選抜入試の実質倍率は約3～4倍ですので、77回生は大健闘と言えるでしょう。また近畿大学や甲南大学の学校推薦型選抜(公募制推薦)の倍率は高い学部では10倍近くになります。昨年近畿大学の公募制推薦の合格者はゼロでした。しかし不合格になった人が、3教科をきっちり勉強して一般選抜で合格を多く勝ち取りました。(ちなみに今年の3年生は近畿大学の公募制推薦には2名、甲南大学は6名の合格者がいます)

昨年のデータを、11月の最後のベネッセ模試の3教科偏差値でもう少し詳しく見てみましょう。

☆関西学院大学は受験者26名のうち、60以上の人は全員合格、55以上の人は2人不合格で残りは合格でした。(55以上の合格率78%、50以上67%、50以下21%)

☆関西大学は55以上は1人不合格、50以上は3人不合格でした。逆に50以下は全員不合格でした。(55以上の合格率75%、50以上70%、50以下0%)

☆近畿大学は55以上は全員合格、50以上は1人が不合格でした。(55以上の合格率100%、50以上86%、50以下44%)

☆甲南大学は55以上は全員合格、50以上は3人が不合格でした。(55以上の合格率100%、50以上83%、50以下22%)

このことから、明石高校生に人気の高い上記4大学では、関西学院・関西大学は偏差値55以上で合格可能性が高く、50でもチャンスがあるということになります。近畿・甲南大学は、55以上だと安全圏、50以上で合格の可能性が高いです。逆に偏差値50以下だと、こ



れらの人気大学への合格は厳しいという結果が出ています。

3年生はこれらのデータから出願校を決定したと思いますが、これはあくまで2月入試の話です。後期入試・3月入試になれば、前期で合格した人は受験しませんので、倍率は高いですが合格ラインは当然下がります。合格通知を手にするまでは、受験勉強を中断させることなく頑張ってください。必ず、良い結果に繋がります。2月入試で全て不合格であったが、3月入試で2月の不合格校より遥かに偏差値の高い大学に合格した、という例は毎年起こっています。とにかく最後まで諦めずに頑張れ！

そのためには、一般選抜の結果が出れば、その都度担任の先生に報告してください。全部結果が判ってからでいいわ、と勝手な判断をして、3月入試の出願締め切りが終わっていたということにもなりかねません。特に、甲南大学の志望者は注意してください。甲南大学は昨年から3月入試(後期入試)がなくなり、中期入試がラストチャンスです。今年度の中期入試は2月17・18日で、出願締め切りは2月5日です。前期日程の結果発表前に出願を済まさなければなりません。前号でも情報をお伝えしたように、今年度の甲南大学は公募制推薦の合格者数を絞り込んだため、前期日程・中期日程とも合格者を増やす予定です。甲南志望者はチャンスを逃さないように。甲南大学以外も同様の例が多くありますので、間違いのないように早急に調べてください。

1・2年生は上記の結果から、まずは全国偏差値50(平均点)以上を受験科目3教科で確実に取れるようにしてください。学校の授業の予習・復習、普段の小テストを手を抜かずに行っている人は、この結果が付いてきていると思います。明日、1・2年生ともベネッセ学力テストがあります。この学力テストの結果で目標偏差値に届いていない人は、自分の勉強への取り組みが間違っていないか、確認して修正してください。3年生になってからは、修正が難しくなりますよ。大学受験に奇跡は起こりません。自分の学習努力がそのまま結果として現れます。これから先の長い人生のために、今をしっかりと！

先日、3年生のある生徒が、テストの答案用紙の余白に次のメッセージを書いてくれました。「入試が近づき、色々なことが不安です。でも進路だよりを読んだら、やる気が出るし、不安も少しは収まります。いつもありがとうございます。最後まで諦めずに、自分を信じようと思います」

こちらの方こそ、しっかり読んでくれてありがとうございます、の気持ちです。この通信が、少しでも皆さんの進路実現の役に立ってくれば、こんなに嬉しいことはありません。明石高校のどの先生も、皆さんの夢の実現を応援しています。先生方を今まで以上にどんどん頼ってください。

閑話 神戸市兵庫区にある県立兵庫津ミュージアムにおいて、特別展『近代スポーツと兵庫』が3月20日まで開かれています。兵庫県発祥のスポーツ、オリンピックと兵庫県の関連資料など、非常に貴重な興味深い展示です。特に甲子園と高校野球のコーナーが厚く設けられ、県内高等学校所蔵の貴重な資料を見ることができます。

旧制明石中学校の延長25回も詳しく紹介され、本校資料室で保管しているこの試合で応援団長の生徒が着用した陣羽織も公開されています。試合後にはこの陣羽織に出場選手がサインをしており、大先輩の偉業を身近に感じることができる貴重な物です。

多くの県立の博物館、美術館、史料館などは高校生以下は無料で入館することができます。高校生の間に、できるだけ多くの文化・芸術・歴史を直接肌で感じてほしいものです。明石文化博物館には常設展示として、明石中学校の開校、延長25回の紹介、さらには平和学習コーナーでは本校放送部と演劇部が製作・出演の明石空襲を伝えるビデオも上映されています。ぜひ文化博物館に立ち寄って、明石の歴史、明石高校の伝統を知ってください。(責o)



展示品の陣羽織(本校所蔵)

